

議会だより

かみやま

第 28 号

2016. 2. 15

12月定例会

下分よこの市は、
地域の横の人たちと手をつなぎ
集う場づくりを目的に、
平成26年から始まりました。

主催：下分まちづくり実行委員会

下分公民館前で開催された、第2回下分よこの市（12月6日）

第17期 議員紹介

平成27年12月20日執行の町議会議員一般選挙で新たに選出された議員を議席順に紹介します。なお、今期から議員定数が2人減の10人となりました。



1番 河野 雅俊
神領字東青井夫・1期



2番 佐出 由恵
阿野字下地・1期



3番 新居 榮二
神領字北上角・1期



4番 中西富士男
鬼籠野字黒河・2期



5番 高橋 和男
神領字北・3期



6番 相原 浩志
阿野字松尾・3期



7番 西崎 哲夫
下分字地野・4期



8番 森本 吉治
阿野字広野・5期



当選証書附与式 平成27年12月21日



9番 細井 成富
阿野字地野々・3期



10番 樫本 雄一
下分字樫谷・4期

ご挨拶

新年明けまして

おめでとうございます。

本年が皆様にとりまして、ご健勝で実り多い年となりますようご祈念いたします。

さて一月六日の初議会におきまして、議員各位のご支持を賜り議長に就任いたしました。身に余る光栄に存じております。

ご案内のとおり浅学非才な者でございますが、皆様のお力添えをいただきながら、全身全霊を傾けて神山町制発展のために働いて参る決意でございます。

少子高齢化が一層進む中、地方創生のモデルとして全国から注目されている本町であります。が農林業の再生振興、南海トラフ巨大地震を見据え防災対策、高齢者福祉、若者定住、少子化に伴う教育の振興等課題問題が山積しております。

このような状況の中、執行権限を持つ執行部と議決権限をもつ議会とがお互いの権限を尊重し、協力して町政の発展のためにその任を果たして参りたいと存じます。

微力ではございますが皆様方のご指導、ご鞭撻としてご協力をお願い申し上げます、就任のご挨拶いたします。

神山町議会議長 樫本雄一

新しい議会構成

議長		樫本雄一						
副議長		細井成富						
常任委員会	総務文教	委員長	西崎哲夫	委員	新居榮二	居出由雅	榮由雅	二恵俊
		副委員長	森本吉治		新佐河			
	産業建設厚生	委員長	中西富士男	委員	樫本雄一	本井橋成和	雄成和	一富男
		副委員長	相原浩志		樫細高			
特別委員会	幹線道路改良整備	委員長	細井成富	委員	森相佐	本原出	吉浩由	治志恵
		副委員長	河野雅俊					
	国道改良整備促進	委員長	高橋和男	委員	樫西中	本崎西	雄哲富士	一夫男
		副委員長	新居榮二					
	議会広報調査	委員長	中西富士男	委員	樫細新	本井居	雄成榮	一富二
		副委員長	森本吉治					
議会運営委員会		委員長	西崎哲夫	委員	樫細	本井	雄成	一富
		副委員長	中西富士男					
監査委員		森本吉治						

名西消防議員	中西富士男 (副議長)	細井成富 (監査委員)
	樫本雄一	相原浩志 高橋和男

12月定例会は、平成27年11月30日から12月3日まで4日間の会期で開催した。提出議案は、27年度補正予算3件、条例の制定5件、条例の一部改正10件、指定管理者の指定2件、議会発議案2件など22議案を審議し、すべて可決した。

一般質問では5議員が登壇し（9～13ページに掲載）それぞれ町の考えを質問した。

日	平成27年12月定例会議案事項	掲載頁
第1日	町長から行政報告	5頁
	一般会計補正予算（第4号）について 【上程・審議保留】	6～8頁
	簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）について 【上程・審議保留】	
	介護保険特別会計補正予算（第3号）について 【上程・審議保留】	
	条例の制定及び一部改正 【上程・審議保留】	
第2日	条例の一部改正 【上程・審議保留】	6～8頁
	指定管理者の指定 神山町養護老人ホームほか 神山町農村環境改善センターほか 【上程・可決】	
	議員研修 講義 「神山町まち・ひと・しごと総合戦略について」	
第3日	一般質問 西崎哲夫議員 五島準介議員 森彦富議員 坂口一之議員 森本吉治議員	9～13頁
第4日	第1日及び第2日保留議案の審議 【審議・可決】	6～8頁
	議会発議案 神山町議会委員会条例の一部改正 【上程・可決】	
	神山町議会会議規則の一部改正 【上程・可決】	
	その他（委員会の閉会中の継続調査） 【上程・可決】	

行政報告 (町長)



1月2日に開催された神山町成人式

●来年度予算に黄色信号

平成28年度の地方交付税は、今年度以上に厳しくなる予想。

本町では人口が前回の国勢調査より、700人程度減少しているの
で、今後の交付税の算定に大きな影
響が出そうである。11月25日に当初
予算事務担当者会議を開催し、予算
編成に取り組んでいる。

●地方創生への取り組み

国ではまち・ひと・しごと創生基
本方針を策定し、従来の縦割りを超
えた財政支援を行う、新型交付金の
創設を明記。全国の都道府県と市町
村も本年度中に総合戦略を策定、28
年度より具体的事業を実施する。

神山町も総合戦略を策定し、国に
提出。次年度より総合戦略に基づき新
たな事業展開をしていく。

●小中学校の入学準備の助成

新年度小中学校に入学する生徒に
入学準備に要する経費の一部を助
成。

●補助金団体に朗報

神山町公的団体貸付金制度を新た
に創設、国県より補助金を受け地域
振興に資する事業をしている、団体
に対し事業運営に対し必要な資金を
無利子で貸し付ける制度。

従来国県からの補助金は実績報告
書を出してから交付金が下りてくる
のでその間、資金がない状態になる
ので、資金を貸付し補助金が入った
時点で返してもらい、活動に支障が
ないようにしてもらう制度である。

●高齢化率47・8%の本町で

高齢者を支える担い手の減少のな
か、地域包括ケアシステムの構築の
ため、NPO法人に介護サービスを
担ってもらう為の事業委託料を計
上。

●神山温泉浴室改修へ

施設開設後、大規模な改修を行っ
ておらず、今回脱衣所や浴室等の床
の改修を予定。

補正予算・条例制定・条例改正・契約締結

() は予算総額

平成27年度補正予算

一般会計（第4号）	補正額	9,514万円（49億3,193万円）
簡易水道事業特別会計（第3号）	補正額	1,106万円（1億8,407万円）
介護保険特別会計（第3号）	補正額	129万円（10億7,086万円）
予算合計	補正額	1億749万円

補正予算・条例制定・条例改正等の主な内容	
総務課	<ul style="list-style-type: none"> ・ 時間外勤務手当 400万円 ・ 神山町公共的団体貸付金 500万円 ・ 若者定住住宅造成計画委託料 302万円 ・ 番号制度対応システム改修委託料 200万円
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 神山町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の制定 ・ 神山町農村情報連絡施設の設置及び管理に関する条例及び無線中継所の設置及び管理に関する条例の一部改正 ・ 神山町財政調整基金条例等の一部改正
産業観光課	<ul style="list-style-type: none"> ・ 有害鳥獣駆除報償金 50万円 ・ 県単作業道整備工事 488万円 ・ とくしま明日の農林水産業づくり補助金 122万円 ・ 神山温泉施設改修工事設計監理委託料 181万円 ・ 神山温泉施設改修工事 1,880万円 ・ 移住者支援空家改修補助金 120万円 <p>内容 神山町に定住しようとする移住者を対象に、空き屋改修費用を助成する制度です。</p> <p>条件の主なもの</p> <ul style="list-style-type: none"> 神山町移住交流センターからの紹介があった者。 5年以上入居する意思がある者。 改修施工者は、町内業者であること。 <p>補助率及び補助金額</p> <p>改修費用の2/3を補助。補助限度額は100万円。</p> <p>※詳しい内容については、役場産業観光課にお問い合わせください。</p>

補正予算・条例制定・条例改正等の主な内容	
健康福祉課	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者生きがい活動促進事業委託料 100万円 ・ 放課後児童クラブ運営委託料 69万円 ・ 老人保護施設措置費 252万円 ・ 介護保険システム改修業務委託料 119万円
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 神山町介護保険条例の一部改正 ・ 神山町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正 ・ 神山町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指定管理者の指定（神山町養護老人ホームほか） 社会福祉法人 有誠福祉会（名西郡石井町石井）
保険課	<ul style="list-style-type: none"> ・ 神山町税条例等の一部改正 ・ 神山町国民健康保険税条例の一部改正
住民課	<ul style="list-style-type: none"> ・ 選挙システム修正委託料 80万円
教育委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 神山東中学校閉校記念誌等 76万円 ・ 小学校入学準備助成金 150万円 ・ 郷土資料館改修工事 21万円
	<ul style="list-style-type: none"> ・ ふるさと定住促進のための奨学資金の償還の特例に関する条例の制定について 制定内容 現在における住所を神山町に有し、居住の事実を確認することができた場合は、当該年度の償還額を全額免除する。 ・ 奨学資金貸付条例の一部改正 ・ 神山町スクールバスの運行及び管理に関する条例の一部改正 ・ 神山町町費負担教職員の採用及び給与等に関する条例の制定 ・ 神山町学校給食共同調理場設置条例及び神山町教職員住宅使用条例の一部改正 ・ 若者定住応援基金条例 制定内容 若者定住応援基金を設置し、奨学資金として神山町の次世代を担う若者を応援し、ふるさと定住と町の活性化を促進することを目的とする。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指定管理者の指定（神山町農村環境改善センターほか） 特定非営利活動法人 グリーンバレー（神山町神領字中津）

補正予算・条例制定・条例改正等の主な内容	
建設課	<ul style="list-style-type: none"> ・町道維持工事 500万円 ・県単急傾斜地崩壊対策工事 450万円 ・現年発生公共土木施設災害復旧工事 4,700万円 ・国、県道改良工事配水管布設替工事 112万円 ・水道基金積立金 1,000万円
議会発議案	<ul style="list-style-type: none"> ・ 神山町議会委員会条例の一部改正 改正内容 議員定数が2人減の10人となることから、常任委員会の名称、定数を、現行の3常任委員会から2常任委員会「総務文教常任委任委員会」、「産業建設厚生常任委員会」、委員定数をそれぞれ「5人」とし、議会運営委員会の委員定数を「5人」から「4人」にする。 ・ 神山町議会会議規則の一部改正 改正内容 議会における欠席の届け出の取り扱いに関して、出産の場合の欠席の届け出について、新たに規定するための改正。

消防議会

名西消防組合議会

平成27年第2回定例議会は、12月24日に神山町役場議場で開催した。

条例制定2件、条例の一部改正1件、決算認定、補正予算1件を審議し、いずれも原案どおり認定、可決した。

一般質問 (石井町川端議員)

救急救命士の職員が両町で何名いるのか、又新規採用者は何名で採用職員の中に救急救命士はいるのかどうか。

答弁

現在救急救命士は神山消防署は5名、石井消防署は6名で新規採用者の中にはいない。新規採用者は今年度は4名。現在消防職員は54名いる。

平成26年度名西消防組合

一般会計歳入歳出決算認定

歳入総額	5億3083万円
歳出総額	5億2378万円
差引額	705万円

平成27年度名西消防組合

一般会計補正予算

歳入歳出それぞれ435万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ5億5109万円とした。



神山町消防団出初め式・放水（1月10日）

一般質問



西崎哲夫 議員

質問1

神山バレーコンプレックス及び宿泊施設WEEK神山の活発な展開による、施設の取り合道路（町道下分北岸線）の一部改修について急激な車輛の増加や大型化による現道の町道機能に支障をきたしている現状がある。大型バスは改良済みの県道寄井川島線に駐車している。しかし大型バスの回転場が近くに無く、鍋岩まで行くか一部はコンビニまでバックで行ってバックで戻ってくる例も出ている。

検討1

地野橋左岸取合16・2m幅員4・2mを県道よりバチ状に改修し、県道幅員6・6mと伴わ

①新しい集客施設の活動展開による 周辺町道の改修検討について

せて大型バスの回転が可能かどうかということ。

検討2

地野橋南岸取合30mは幅員4・0mだがカーブになっており道路の回転半径が小さいため普通車の対向も出来ない。カーブの内側を改修すれば問題解決する。事業費も少なく早急な改修はできないか。民による地方創生の拠点が出来て活動を展開した場合官民両輪の協働体制と官と民の適度な役割分担は大切な要件と思うが官の対応が遅れている様と思う。早急な取り組みが必要でないか。

答弁（町長）

何も無かった地域に地方創生の拠点が開設され、町内外からの来訪者が急が増え、地域の生活道の町道下分北岸線で、道路

機能と不具合から生じる問題が発生しているとの質問である。

当該の町道は、開設が農免道

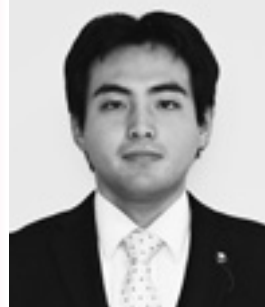
路であり規格が農道仕様である。地野橋北岸の民地のご協力によって、大型バスの回転がご指摘の場所でそれが可能かどうか、もう一度現地で調査をして出来るならば、質問の主旨に添いたいと思っている。南岸の部分については現況は承知しているので、用地提供が可能ならば早急に実施したいと考えている。北岸の大型バスの回転場、南岸のカーブ両切りの現状は交通安全上好ましくない点については早急に検討する。そうすることによって地元の方々の生活道として利用に支障をきたさないように、又視察の方にも不便、不快感を与えないようにす



地野橋周辺（下分字地野）

ることがこれからの神山町にとって重要なポイントであると思っている。この拠点施設がいつまでも進化し続けていけるように、我々も共に連携しながらやってまいりたいと考えている。

一般質問



五島 進介 議員

質問

現在、神山町には若者が続々と移住してきている。その中で若者定住住宅が必要になってくるのは必然であるかと思う。しかし、一方でたった12世帯のために大きな予算をかけるといった町民の意見もあった。この制度は神山町に居を構える足掛かりとしての制度であるべきだと考える。

より多くの方に利用してもらえる制度となるのか方針をお考えをお伺いしたい。

答弁（町長）

この若者定住住宅の建設についてはかねてより議員の皆様方からも質問をいただいている。

①若者定住住宅について

先に議員の皆さまにもこれについてのアクションプランをお示ししている。このときは一戸建て12戸と、ということでしたが、今日の若者等のニーズに即したような公共的スペース等々備わった従来型の住宅ということではなく、神山らしき豊かさを享受できるような施設にして参りたいと考えている。

入ってこられた方が、孤立するということがあつてはならない、共に共同的な顔に見える関係が、構築されるようなものでなくてはならないと思う。従来型の集合住宅は考えていない。出来る限り神山の木を使った住宅が、後々の修繕の際にも非常に有利であるということも考えながら現在、アクションプランの内容を、より充実す

るための検討中である。

補助を受けた住宅であるならば、所得制限というものがあがり、一定以上の所得がある場合に退去せざるをえないという制限もあるので、この際はそういった所得制限ということには、できるだけ関わらないようなものにして、できるだけ若い人々に住んでいただけるようにしたい。

様々な制度を使いながら、できるだけ町財政に負担をかけるような財源を、考えながらやってみようと考えている。

参考

若者定住アクションプランは、若者の転入を促すため、青雲寮を解体して12棟の住宅を平成30年度までに完成させることを記した行動計画です。

しかしながら、地方創生戦略を検討する中で、戸数の増や地域との関係性、環境面への配慮等について見直しが必要と判断されたため再検討しています。



集合住宅の建設予定地（神領字大埜地）

一般質問



森 彦富 議員

質問①

山間地に住む高齢者にとって買物、病院に行くにもタクシーを利用しないといけない。そうしたなか、タクシートの助成制度は非常にありがたい。しかし外出機会の多い高齢者にとって年間3冊では不足である。増刷は出来ないか。

答弁（町長）

4冊にします。

平成26年度は561名の方が利用している。内63名が3冊利用している。高齢者サービスの充実のため来年度より4冊まで利用できるようにする。

質問②

学童保育の現状について

- ① 高齢者等タクシー助成制度について
- ② 学童保育の現状について
- ③ 名ヶ平周辺に公衆トイレを

答弁（健康福祉課長）

学童保育は今年度で9年目で保護者が就労などにより、保育を受けられない6年生までの児童を対象とし、運営される神小「すだちっこくらぶ」に44名と「広野児童クラブ」に27名が在籍。使用料は月額8,000円、2人目は6,000円となっている。運営費の不足分の年間700万円ほどは委託料として、町費より支出している。

答弁（町長）

現在2人目の児童6,000円については今後無料にしたい。

質問

町残土処理場に住宅を今まで、何度も要望してきたが、長谷地区にある残土処理場を若者住宅に出来ないか。

答弁（町長）

以前にも質問を頂いたが、この場所が住宅建設に適地かどうかよく考えなければいけない。現在のところ現地には計画を持っていない。

質問③

神山町ではマスコミなどに数多く取り上げられ、多くの方が町内を訪れている。

観光シーズンには倉羅峠を越えて、町内に入る観光客が途中にトイレ施設がないので、設置できないか。

答弁（産業観光課長）

観光シーズンには多くの方が神山町を訪れている。観光振興の観点からも観光地において、公衆トイレの設置や改修は必要であると考えている。



地域福祉を支える高齢者タクシー

一般質問



坂口一之 議員

質問①

北海道の音威子府村おといねっぶは、村の努力により芸術科の独立校として高校を存続させた。島根県の海士町では町外、県外より学生を入学させて存続。長野県白鳥町では観光学科を新設して存続させている。町の城西高校の分校を造園土木、山間地域女子特別生活科の独立校にしてはどうか。町長の考えは。

答弁（町長）

地方創生の町の戦略会議の中で保育所、小学校、中学校、高校の一貫した教育を目指すべきとの多数の意見あり、高校の独立校は地方創生の大きな課題であり、戦略会議の中で検討していく。

- ①城西高校神山分校の支援策について
- ②役場支所・公民館の強化について
- ③産業振興について

質問②

町の支所・公民館は広野以外には現業職員の配置であるが、定数を増員して一般職員を配置してはどうか。

上分は林業、下分・神領は農林業、鬼籠野・阿川は農業、広野は農業、住宅地と特色がある。職員が住民の中にもっと入りこんで活性化策をさぐる努力が必要と思うが町長の考えは。

答弁（町長）

厳しい時期だからこそ一般職員を配置して様々な地域の特色を生かした地域づくりのため力を注ぐべきと思う。今後検討していく。

質問③

徳島新聞の人の紹介記事の中で慶応大学渡辺先生が提案しているが薬草、薬木は付加価値が

高く中山間地の耕作放棄地の解消に役立つ山林の荒廃防止には薬木を植える。将来は一〇兆円産業になるといつている。薬草、薬木を取り入れるとい

うのではないが神山町の風土にあった金なる草（作物）、木を考えていくことが重要である。町長の考えは。

答弁（町長）
行政、生産者、JA、各種農業団体と一体となり、地域おこし協力隊を活用して、もうかる作物を取り入れた農林業を展開していくことが重要であると考えている。



城西高校神山分校校舎

一般質問



森本吉治 議員

質問①

4月より、神山東中学校が神山中学校に統合され、広野小学校の児童数も5年後には20名を割るとの予想が出ているが、保護者より、教育格差が出てくるのではないかと心配している。また小学校が中学校に移転した後の、空き校舎を児童数増加を目的に、若者住宅用に改装することは出来ないか。

答弁（教育長）

複式学級にはしない。

現在、広野小学校は37名在籍している。県教育委員会の基準では今年度2クラス複式学級となっている。しかし県教育委員会の配慮により、1人の加配を

① 広野小学校の今後の活用 ② 入学準備金の1部を神山町商工会発行の商品券で

持つて、現在はずべての学級が単式授業をしている。来年度は入学生徒が少なくなり、すべての学級が複式学級となる可能性

が高い。そこで今議会に上程する神山町町費負担教職員の採用及び給与に関する条例案により、学級担任のできる教員を、町独自の制度により採用し、全ての学級を単式学級で編制し、きめ細やかな指導をしたい。この制度は県下で初めての導入である。

答弁（町長）

小学校の有効活用は住民の意見を参考に。

仮に小学校を住宅用に改装すれば18戸位できるが、保護者、また地元住民の意見が重要と考えている。人口増については、鬼籠野から東部、特に広野地区

では空き家の利活用が進んでいないので、そのあたりにも力を入れたい。

質問②

新年度より小中学校の入学生に入学準備金として3万円が支給されるが、その内1万円ぐらを商品券でお渡しし、町内で購買につながるようにしてはどうか。町の税金で支給するのであれば、その辺りも配慮してもいいのでは。

答弁（町長）

入学準備金として助成するので入学に必要な物品を購入できる店が町内にどれだけあるのか。制服などは町内で購入できないがその他については難しいのではないか。商工会も入学用品がそろえられる商店の育成にも期待したい。



広野小学校校舎

神山町子ども議会

平成27年11月26日 神山町議場

神山の風景

昨年に引き続き、神山町子ども議会を神山町議場で開催した。

神山東中学校・神山中学校の2年生の生徒20人が、5つのグループに分かれ、後藤町長らに「神山町を元気な町にするために」をテーマとする質問や提言を投げかけた。

各グループの一般質問事項は次のとおりである。

- ① 地方創生について
- ② 神山町の人口について
- ③ 人口増加について
- ④ 町のPRについて
- ⑤ 神山町活性化のために



議会の動き

1月

6日 神山町議会

第1回臨時議会

2月

9日 勝名地区議会議員

研修会（石井町）

3月

上旬～中旬

神山町議会3月定例会

編集後記

今回、議会だよりも28号発行で7年を終え、次回からは新メンバーで議会だよりを発行することになる。振り返れば議会からの一方的な情報提供になっていなかったか、どのくらいの人が、興味をもって読んでもらっているのか。紙面が固すぎないか、色々不満をもっていないかと試行錯誤で過ぎた7年間であった。紙面内容についても議員が編集委員となり、手作りのため、ご迷惑をお掛けしたかもしれないが、住民に町政に関心をもってもらえるような紙面作り、今後も励みたいと思っておりますので、住民皆様のアイデアをお寄せいただければなによりと思っております。4年間お世話になった編集委員さん、ご苦労さんでした。

（編集委員長 森本吉治）